

2011年度の全社的な環境マネジメントの実施状況

2011年度は、右図に示すとおり、CSR委員会を1回開催し、2011年度の環境保護の取り組みについて報告するとともに、更なる改善に向けて議論しました。この結果は、NTT西日本の環境経営推進室とグループ各社の環境担当を通じて、NTT西日本グループ全体へ展開しました。

委員会の実施状況

- 1 2011年度の取り組み状況及び2012年度の取り組みについて
- 2 2012年度 文化財保護活動 (ART MEET WEST) について
- 3 2012年度 CSR活動「視える化」指標及び目標について

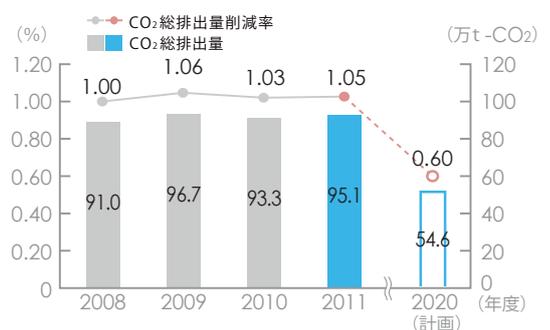
環境グランドデザイン達成に向けた進捗について

温暖化対策

NTT西日本グループのCO₂排出要因としては、電力使用・社用車使用・燃料(ガス・石油)使用があり、電力使用が要因の大半をしめています。

2011年度は2010年度に比べ電力使用量は減少したものの、原子力発電所停止によるCO₂排出係数の上昇によりCO₂排出量が2011年度は昨年度に比べ上昇しています。

CO₂総排出量の推移



紙使用量削減

NTT西日本グループで使用する紙には電話帳、請求書、事務用紙、電報があります。

2011年度の総使用量は2.97万tで(図1)、内訳は電話帳2.40万t、請求書0.27万t、事務用紙0.25万t、電報0.05万tです。

ペーパーレス会議の徹底や社内利用用紙のシステム化による徹底的な削減等を進めるとともに、お客様のご協力を得ながら、書面でのご案内に代えてインターネットで請求額等を確認するMyビリング(web明細サービス)への切り替えを促進しています。

図1 紙総使用量



一人あたりの事務用紙使用枚数



廃棄物最終処分率低減

産業廃棄物には、撤去通信設備廃棄物、土木工事廃棄物、建築工事廃棄物、オフィス内産業廃棄物が含まれています。

2011年度の産業廃棄物の最終処分率は1.2%(図2)、内訳は撤去通信設備廃棄物の最終処分率0.1%、土木工事廃棄物の最終処分率1.6%、建築工事廃棄物の最終処分率1.7%、オフィス内産業廃棄物の最終処分率5.7%です。

撤去した通信設備廃棄物の最終処分率は低いものの、オフィス内産業廃棄物の最終処分率が相対的に高いため、調達時には、リユース・リサイクルが容易な環境に配慮されたオフィス用品の購入を促進していくよう配慮しています。

図2 産業廃棄物最終処分率



環境教育

NTT西日本グループでは、社員の環境意識向上に向けて様々な環境教育を実施しています。

1. 環境セルフチェックセミナー

NTT西日本グループでは、環境セルフチェック(P20)を行うにあたり、各組織の実施責任者となる社員を対象に環境セルフチェックセミナーを開催しています。

本セミナーは、環境セルフチェックを実施するためのスキルの習得にとどまらず、環境法令や環境に関する社会的動向等の知識の習得と、環境保護活動に対する意識向上の役割を兼ねた環境教育の一環としており、2011年度は、193名が受講しました。また、セミナーは環境負荷低減のため、2006年度から遠隔研修にて実施しています。

環境セルフチェックセミナー風景



2. 環境保護研修

NTT西日本グループで働く一人ひとりの環境保護活動に対する意識醸成を図ることを目的に、約9万人に対してWebを活用した環境保護研修を実施しました。

本研修では、環境対策の重要性に加え、西日本グループが取り組む環境経営等の知識習得を通じて、一人ひとり取り組むアクションプランを立案しました。

環境保護研修テキスト



3. 環境担当者向け自然体験学習

社会における自然環境保護活動(清掃活動、森林保全、生物多様性保全等)の高まりを受けて、環境担当者を対象とした自然体験学習を実施しており、2011年度については、「もみのき森林公園」(広島県)で開催しました。

自然体験学習風景



環境教育では、自然環境保護活動に関して実際に行動できる核要員の育成を目的とし、核要員を通じた各社・各支店内での自然環境保護活動の展開を図りました。